

## はじめに

本調査は、当金庫のお取引先のご協力により昭和50年7月から実施しているものです。四半期ごとに調査を行い、D.I.を中心として分析を行っています。

なお、当金庫では6種類の一般業種のほか、地域金融機関として地場産業に重点を置いた調査を行い、次の8業種を選定しております。

- ① 縫製業
- ② 電子部品・半導体製造業
- ③ 漆器業
- ④ 木材業
- ⑤ 建具業
- ⑥ 織布業
- ⑦ 繊維・雑品業
- ⑧ 観光業

今回の調査は、令和元年7月～9月期の業況実績と、令和元年10月～12月期の見通しについて、管内697先の事業所を対象に実施いたしました。

些かなりとも経営のお役に立てていただければ幸いです。

### ※D.I. (Diffusion Index) 拡張指数

不変部分を除いて増加（上昇）したとする企業と、減少（下降）したとする企業の全体に占める構成比のどちらの力が強いかを比べて、時系列的に景気のベクトルの傾向を見る方法です。

## \*\*\*\* 目次 \*\*\*\*

1. 概況	1
2. 地区内の業況D.I.推移	2
3. 一般業種の業況	
(1) 製造業	3
(2) 卸売業	4
(3) 小売業	5
(4) サービス業	6
(5) 建設業	7
(6) 不動産業	8
4. 地場産業の業況	
(1) 能登地区の縫製業	9
(2) 能登地区の電子部品 ・半導体製造業	10
(3) 能登地区の漆器業	11
(4) 能登地区の木材業	12
(5) 能登地区の建具業	13
(6) 能登地区の織布業	14
(7) 能登地区の繊維・雑品業	15
(8) 能登地区の観光業	16
5. 経済指標	17～18
6. 特別調査	
消費税率引上げの影響と 対応について	19

(注) 令和元年7月～9月を今期、平成31年4月～令和元年6月を前期、令和元年10月～12月を来期という、以下同じ。

### 調査対象企業の業種別先数および有効回答数

	依頼先	有効回答数	回答率 (%)	構成比 (%)
製造業	211	194	91.9	30.1
卸売業	29	28	96.6	4.4
小売業	208	190	91.3	29.5
サービス業	123	114	92.7	17.7
建設業	97	91	93.8	14.1
不動産業	29	27	93.1	4.2
合計	697	644	92.4	100.0

## ◇◆◇ 概 況 ◇◆◇

《 2019 年 7 月～9 月》

元号も令和と変わってやや落ち着きが出てきたが、いよいよ10月から消費税が増税となる。一方で、併せて実施される軽減税率の導入で全ての事業者が複数の税率に対応した経理作業が強えられることとなり、作業負担の増加を懸念する。また、軽減税率に対応したレジも品薄状態で、駆け込み需要に納品が追いついていない状況が見られる。加えて、キャッシュレス決済に伴うポイント還元も複雑化に拍車をかけているように感じられる。個人経営ではキャッシュレス決済へのハードルも高く、単価が低い店では手数料負担も大きいと感じている。ただ、利用する側は利便性を理解すればメリットは大きい。

こうした中、当金庫営業地区の今期（令和元年7月～9月）業況D.I.は、△5.7（前期△9.6）と前期比3.9ポイントの改善を示した。

地区内全体では、好調であった製造業が米中貿易摩擦や韓国との関係悪化の影響で悪化を示し、不動産業も弱い動きで推移した。反面、消費税増税前の駆け込み需要が影響した卸売業、小売業、建設業、観光シーズンを迎えたサービス業では改善を示した。

地場産業では、8月での入込客の減少に伴い漆器業が悪化したが、米中貿易摩擦や韓国との関係悪化で受注が減少した電子部品、住宅関連の駆け込みに期待した木材業や建具は横這いを示し、資材向けが堅調に推移した織布業、特殊機能繊維に関わるゴム入り細巾織物が好調な雑品業、シーズンを迎えた観光業などで業況D.I.が改善を示した。

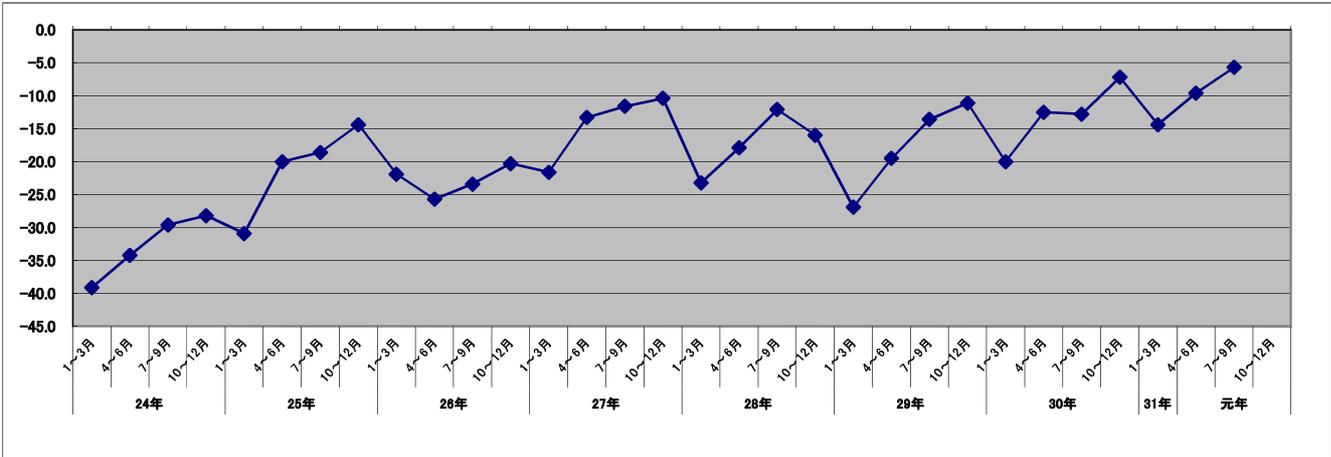
来期（令和元年10月～12月）の地区内における業況D.I.は、△18.6と大幅な悪化を予想する。地区内全体では全業種で悪化すると見ているが、特に駆け込み需要の反動減が懸念される卸売業、小売業、サービス業の悪化が大きく、製造業では引き続き海外情勢の不透明感が景況感を悪化させている。

地場産業においても、改善を予想する縫製業と建具業の横ばい予想を除き全業種で悪化を予想する。電子部品・半導体製造業は先行きの不透明感が強まっており、織布業や雑品業、観光シーズンから冬季に向かう観光業や入込客の減少の影響を受ける漆器業でも大きく悪化を予想する。

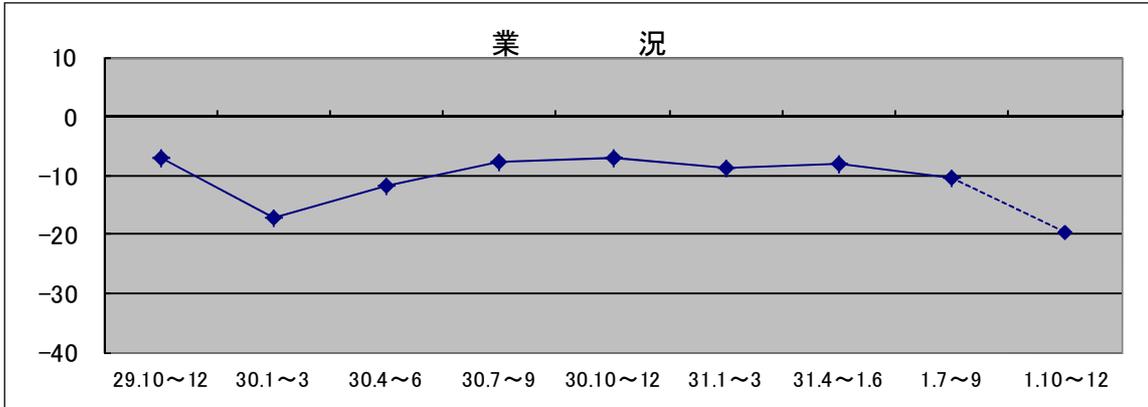
先ほど発表された基準地価では、石川県内全用途の平均変動率が27年ぶりに上昇に転じたと大きく新聞報道がなされた。金沢市中心部は上昇幅が拡大したが、金沢駅前高止まり傾向が見られた。新たに、北陸新幹線の延伸に伴い小松市や発展が目覚ましい野々市市も上昇した。一方で、能登の中心を担ってきた七尾市では、大型商業施設の破綻に伴い商業地としての駅前の基準地価の下落率が最悪となった。専門家の意見では、金沢市内では空きが出て次への期待感で地価の下落はほとんどないが、七尾市の場合はその期待感が薄いことから、周辺の地価の下落に繋がっているという。なお、住宅地に関しては相変わらず奥能登地区の下落率の下げ止まりが見られない。

# 地区内の業況D. I. 推移

年	期間	業況D. I.	年	期間	業況D. I.
H24年	1~3月	△ 39.1	H28年	1~3月	△ 23.2
	4~6月	△ 34.2		4~6月	△ 17.9
	7~9月	△ 29.6		7~9月	△ 12.1
	10~12月	△ 28.2		10~12月	△ 16.0
H25年	1~3月	△ 30.9	H29年	1~3月	△ 26.9
	4~6月	△ 20.0		4~6月	△ 19.5
	7~9月	△ 18.6		7~9月	△ 13.6
	10~12月	△ 14.4		10~12月	△ 11.1
H26年	1~3月	△ 21.9	H30年	1~3月	△ 20.0
	4~6月	△ 25.7		4~6月	△ 12.5
	7~9月	△ 23.4		7~9月	△ 12.8
	10~12月	△ 20.3		10~12月	△ 7.2
H27年	1~3月	△ 21.6	H31年	1~3月	△ 14.4
	4~6月	△ 13.3	R元年	4~6月	△ 9.6
	7~9月	△ 11.6		7~9月	△ 5.7
	10~12月	△ 10.4		10~12月	



# 製造業



## 【概況】

米中貿易摩擦や韓国との関係悪化などの影響からか、北陸の製造業全体では景況指数が悪化したが、当地区においては漆器業を除き横這いまたは改善を示した。しかしながら、今期（R1.7月～9月）の業況D.I.は△10.4（前期△8.2）と悪化を示した。

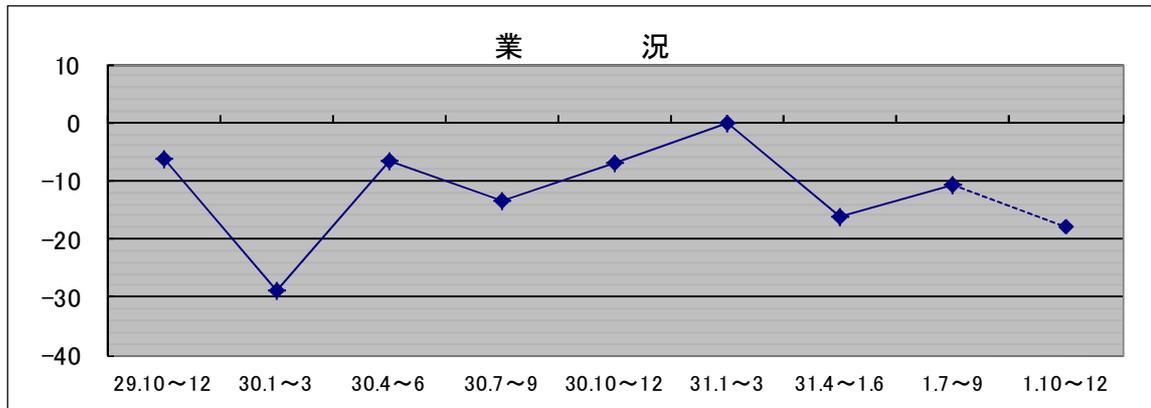
来期（R1.10月～12月）の業況D.I.は△19.7と更なる悪化を予想する。今後も進化を続ける自動車の電動化や産業機械の自動化、第5世代移動通信システムの導入など将来に向け明るい材料が多いが、一企業ではどうすることも出来ないことも事実である。

### 《業績判断D.I.の推移》

	平成29年	平成30年				平成31年(令和1年)				見通し
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
業況	△7.0	△17.2	△11.8	△7.7	△7.0	△8.7	△8.2	△10.4	△19.7	
売上	2.0	△17.2	△3.4	△1.0	△6.0	△12.8	△4.1	△5.2	△14.0	
収益	△6.5	△18.2	△9.4	△6.6	△8.5	△12.2	△4.6	△7.8	△23.3	
資金繰り	△10.4	△9.1	△9.9	△6.6	△4.5	△2.6	△2.0	△9.8	△13.0	
人手	△14.9	△14.1	△8.9	△10.7	△11.6	△11.8	△11.2	△11.9	△10.4	
設備	△6.0	△7.6	△9.9	△4.6	△3.5	△4.1	△6.6	△6.2	△5.7	

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	18.9 %	提携先を見つける	28.2 %
輸入製品との競争の激化	17.0 %	販路を広げる	20.0 %
利幅の縮小	8.4 %	経費を節減する	16.7 %

# 卸売業



## 【概 況】

卸売業全体の今期（R 1.7月～9月）業況D.I.は△10.7（前期△16.1）と改善を示した。前期に続き建築資材は堅調に推移し、食料品や生活雑貨など増税前の駆け込み需要が功を奏した結果となったが、医薬品は低迷した。

来期（R 1.10月～12月）の卸売業全体の見通しは、駆け込み需要の反動減も考慮して△17.9と悪化を予想する。

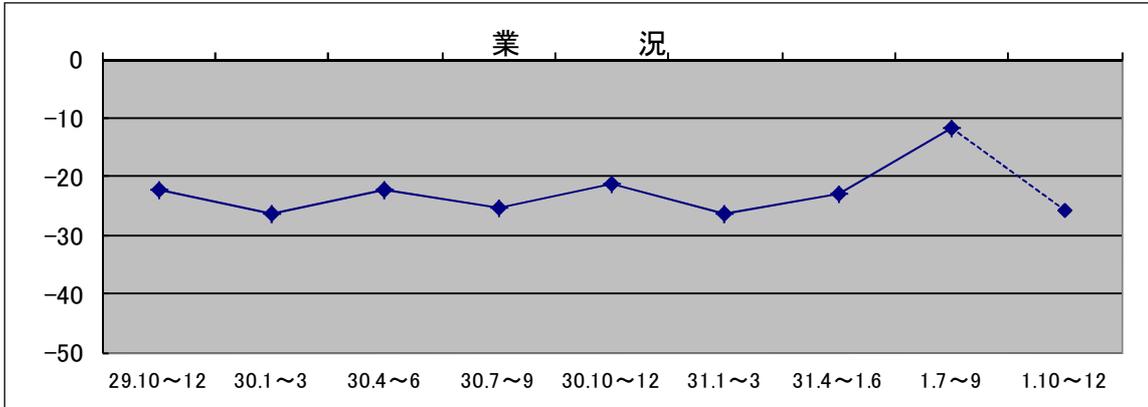
この業界では、特に原材料費の高騰や人件費の増加が経営に与える影響が大きいと見ている。

### 《業績判断D.I.の推移》

	平成29年	平成30年				平成31年（令和1年）				見通し
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
業 況	△6.2	△29.0	△6.5	△13.3	△7.1	0.0	△16.1	△10.7	△17.9	
売 上	△12.5	△25.8	0.0	0.0	△3.6	△3.3	△12.9	△21.4	0.0	
収 益	△9.4	△29.0	△3.2	△3.3	△10.7	△10.0	△19.4	△17.9	△3.6	
資金繰り	△3.1	△19.4	△9.7	△6.7	0.0	△6.7	△9.7	△14.3	△17.9	
仕入価格	9.4	16.1	12.9	10.0	0.0	6.7	△3.2	0.0	32.1	
在 庫	3.1	0.0	3.2	3.3	△7.1	0.0	△3.2	3.6	0.0	

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	19.4 %	提携先を見つける	37.2 %
同業者間の競争の激化	14.9 %	経費を節減する	21.8 %
合理化の不足	11.9 %	販路を広げる	20.5 %

# 小売業



## 【概況】

7月までは大きな動きは見られなかったものの、8月に入り気温の上昇と増税前の駆け込みもあって、家電にまとめ買いが見られるなど堅調に推移したが、反面、自動車に関しては前回の増税時に比べて低調であった。百貨店やコンビニも前年同期を下回っている。

結果、今期（R1.7月～9月）の業況D.I.は $\Delta 11.6$ （前期 $\Delta 22.9$ ）と大きく改善を示した。

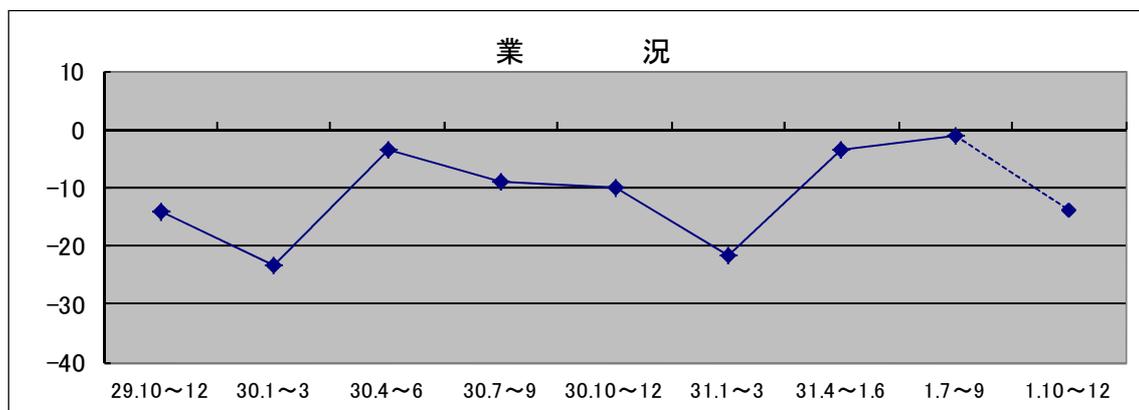
来期（R1.10月～12月）業況D.I.については $\Delta 25.8$ と反転悪化を予想する。増税後の反動減や税率変更による消費落ち込みを懸念する声が多い。

### 《業績判断D.I.の推移》

	平成29年	平成30年				平成31年(令和1年)				見通し
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
業況	$\Delta 22.3$	$\Delta 26.4$	$\Delta 22.2$	$\Delta 25.5$	$\Delta 21.2$	$\Delta 26.4$	$\Delta 22.9$	$\Delta 11.6$	$\Delta 25.8$	
売上	$\Delta 13.6$	$\Delta 29.5$	$\Delta 3.8$	$\Delta 9.5$	$\Delta 11.1$	$\Delta 16.1$	$\Delta 15.4$	$\Delta 2.1$	$\Delta 21.6$	
収益	$\Delta 15.0$	$\Delta 31.6$	$\Delta 5.3$	$\Delta 12.0$	$\Delta 11.1$	$\Delta 16.6$	$\Delta 15.4$	$\Delta 2.6$	$\Delta 20.0$	
資金繰り	$\Delta 17.5$	$\Delta 19.2$	$\Delta 13.9$	$\Delta 17.5$	$\Delta 20.2$	$\Delta 16.6$	$\Delta 12.9$	$\Delta 11.1$	$\Delta 14.2$	
販売価格	7.3	1.0	10.1	8.0	$\Delta 2.0$	$\Delta 1.6$	4.0	0.0	20.0	
在庫	5.3	$\Delta 1.6$	1.9	1.5	3.0	5.2	1.0	5.8	5.3	

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
地価の高騰	16.3 %	仕入先を開拓・選別する	28.8 %
売上の停滞・減少	15.6 %	経費を節減する	21.3 %
商圏人口の減少	14.4 %	品揃えを改善する	11.1 %

## サービス業



### 【概 況】

夏季の観光シーズンに伴い、入込客の増加から特に観光業では好調さが窺えた。しかしながら、思ったほどの売り上げや収益には繋がらなかった模様。主要観光地での入込客数も年々減少傾向となっている。旅客運送業にも影響が出て、理・美容業も低調であった。

サービス業全体では今期（R1.7月～9月）業況D.I.は△1.0（前期△3.4）と大幅に改善を示し、観光業が下支えした結果となった。

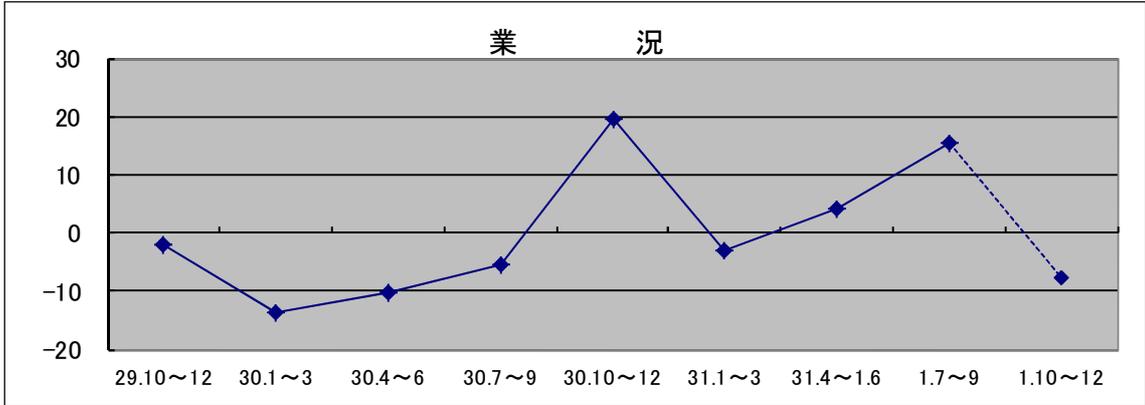
来期（R1.10月～12月）のサービス業全体でのD.I.は△13.9と大幅な悪化を予想する。秋の観光シーズンでもあるが、冬季に向かうことで業界全体としては厳しいと予想する。人手不足の解消も先が見えてこない。

#### 《業績判断D.I.の推移》

	平成29年	平成30年				平成31年(令和1年)			見通し
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
業 況	△14.2	△23.5	△3.4	△9.0	△9.9	△21.7	△3.4	△1.0	△13.9
売 上	△14.2	△26.1	5.9	△6.6	△17.4	△20.8	△4.2	△2.0	△10.9
収 益	△19.2	△29.4	3.4	△12.3	△12.4	△19.3	△5.9	△3.0	△11.9
資金繰り	△15.8	△20.2	△7.6	△5.7	△5.8	△13.3	△13.6	△6.9	△11.9
料金価格	△3.3	△5.0	2.5	0.0	△1.7	0.0	5.9	2.0	12.9
設 備	△12.5	△6.7	△4.2	△4.9	△5.8	△8.3	△5.1	△5.9	△4.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
代金回収の悪化	14.8 %	提携先を見つける	30.5 %
利幅の縮小	14.5 %	経費を節減する	18.1 %
売上の停滞・減少	14.5 %	販路を広げる	15.2 %

# 建設業



## 【概況】

住宅建築においては、消費税増税前の駆け込み需要への期待に反し、前回の増税時に比べて盛り上がりには欠けていたとの声が聞かれた。増税後の負担軽減策を見据えて需要の平準化が図られたのではないかと捉えている。そのような状況下においても、建設業における今期（R 1.7月～9月）の業況D.I.は15.4（前期4.2）と大きく改善を示した。

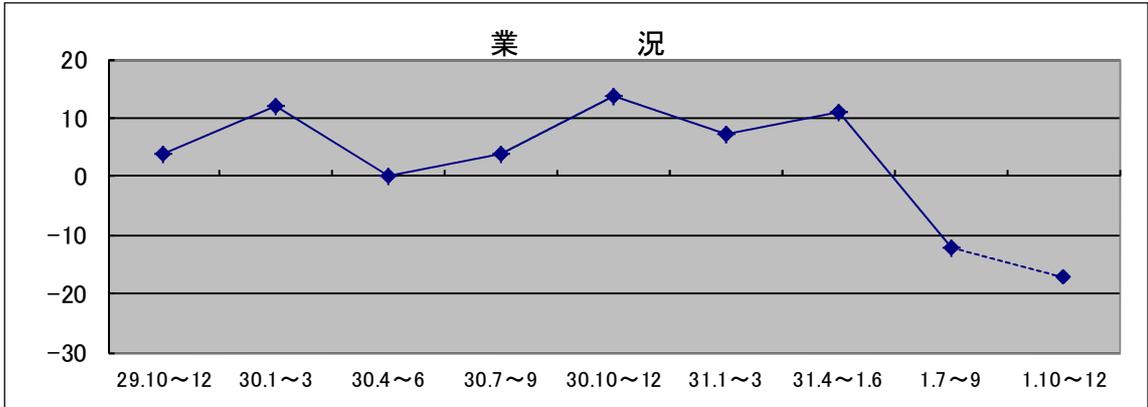
来期（R 1.10月～12月）の業況D.I.は△7.7と大幅な悪化を予想している。増税後の反動減も少なからず見られるものと予想するも、反面駆け込みが少なかったことから10月以降も期待できると見る企業もある。いずれにしても材料価格の高騰や深刻な人手不足など問題は多い。

### 《業績判断D.I.の推移》

	平成29年	平成30年			平成31年(令和1年)			見通し	
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
業況	2.0	△13.8	△10.1	△5.4	19.4	△3.2	4.2	15.4	△7.7
売上	△5.1	△20.2	11.2	0.0	18.3	△10.8	6.3	15.4	△16.5
収益	△7.1	△21.3	△1.1	△3.3	11.8	△9.7	2.1	9.9	△20.9
資金繰り	△8.2	△4.3	△1.1	△4.3	3.2	0.0	2.1	△2.2	△9.9
請負価格	△7.1	1.1	4.5	△2.2	2.2	6.5	△4.2	1.1	2.2
人手	△14.3	△20.2	△10.1	△13.0	△20.4	△11.8	△23.2	△22.0	△20.9

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
同業者間の競争の激化	15.2 %	技術力を高める	29.7 %
売上の停滞・減少	13.1 %	経費を節減する	19.3 %
人手不足	10.7 %	販路を広げる	11.9 %

# 不動産業



## 【概況】

消費税増税前の駆け込み需要への期待もあったが、住宅建設同様顕著な動きは見られなかった。結果、今期（R 1.7月～9月）の業況D.I.は△12.2（前期11.1）と大きく悪化を示した。

来期（R 1.10月～12月）の業況D.I.は△17.1と更なる悪化を予想している。在庫は確保されているが価格の高騰が続いている。

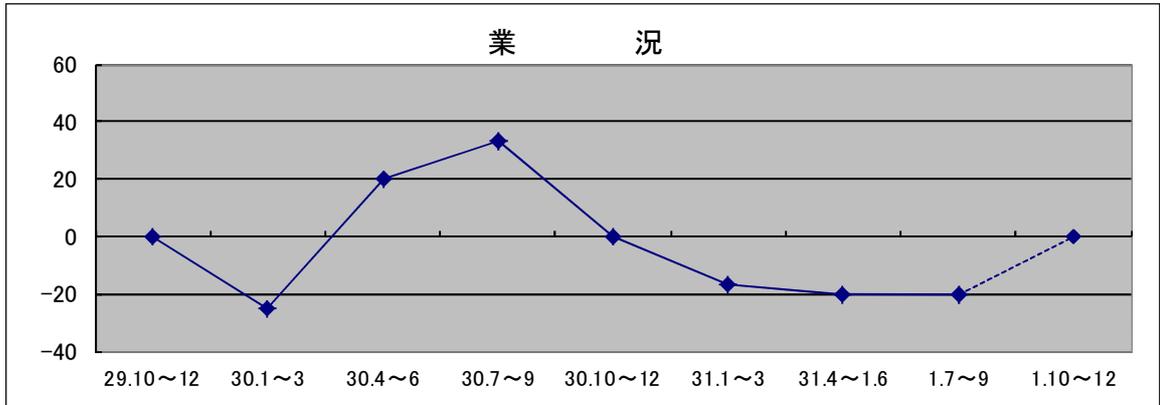
7月に発表された基準地価では、全用途の平均変動率が27年ぶりに上昇に転じた。金沢中心部では上昇幅が拡大したものの、一方で、大型商業施設の破綻で七尾駅前が最悪の下落率を示した。

《業績判断D.I.の推移》

	平成29年	平成30年				平成31年（令和1年）				見通し
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
業況	3.8	12.0	0.0	3.8	13.8	7.1	11.1	△12.2	△17.1	
売上	11.5	4.0	15.4	0.0	13.8	7.1	7.4	△4.9	△9.8	
収益	7.7	0.0	11.5	3.8	10.3	3.6	7.4	△7.3	△9.8	
資金繰り	△7.7	△8.0	△11.5	△3.8	△6.9	△14.3	3.7	△7.3	△14.6	
販売価格	11.5	△4.0	7.7	7.7	10.3	3.6	14.8	9.8	9.8	
在庫	7.7	△4.0	△3.8	△3.8	△6.9	△18.5	0.0	2.4	2.4	

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	29.7 %	販路を広げる	16.3 %
同業者間の競争の激化	29.7 %	宣伝・広告を強化する	14.2 %
利幅の縮小	12.5 %	情報力を強化する	12.4 %

# 能登地区の縫製業



## 【概 況】

婦人向け衣料の低迷が続いており、受注の減少に繋がっている。

今期（R 1.7月～9月）の業況D.I.は△20.0（前期△20.0）と横這いを示した。

来期（R 1.10月～12月）は業況D.I.を0.0と大幅な改善を予想している。売上げ及び収益は改善すると予想しており、受注に見合った人手は確保されているとみて改善を見込む。

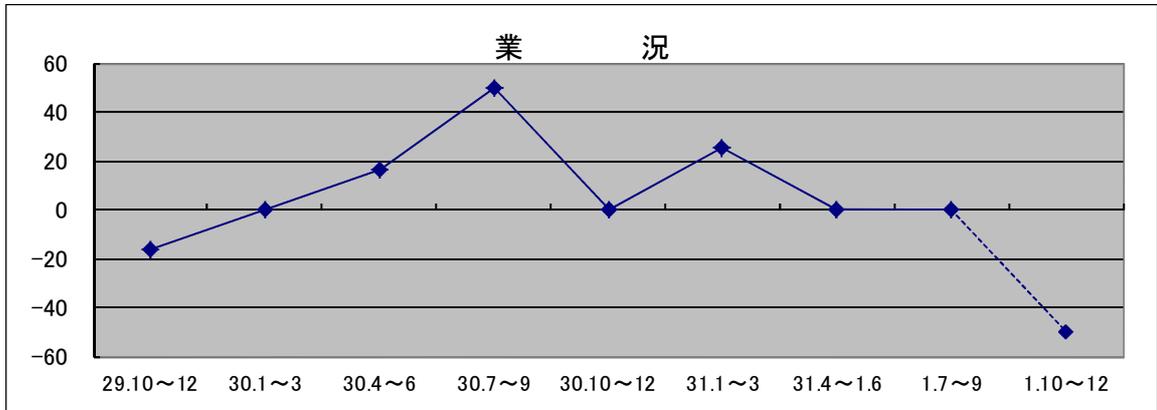
経営上の問題点としては、引き続き「輸入製品との競争の激化」と「売上の停滞・減少」をあげる企業が多い。

### 《業績判断D.I.の推移》

	平成29年	平成30年				平成31年（令和1年）				見通し
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
業 況	0.0	△25.0	20.0	33.3	0.0	△16.7	△20.0	△20.0	0.0	
売 上	△33.3	△25.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	△40.0	40.0	
収 益	△33.3	△25.0	0.0	0.0	20.0	0.0	△20.0	△40.0	40.0	
資金繰り	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	△20.0	0.0	0.0	
人 手	△66.7	△50.0	△20.0	△66.7	△40.0	△33.3	△20.0	△20.0	0.0	
設 備	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
輸入製品との競争の激化	33.3 %	新製品・技術を開発する	42.9 %
売上の停滞・減少	22.2 %	経費を節減する	28.6 %
人手不足	11.1 %	労働条件を改善する	28.6 %

# 能登地区の電子部品・半導体製造業



## 【概況】

米中貿易摩擦による中国経済の減速や隣国との関係悪化の影響を受け、スマホ向け部品や自動車向け製品の受注減少が見られた。

今期（R 1.7月～9月）業況D.I.については0.0（前期0.0）と横這いで推移したものの、売上げ、収益ともに大幅な悪化を示した。

来期（R 1.10月～12月）の業況D.I.は△50.0と大きく悪化すると予想する。

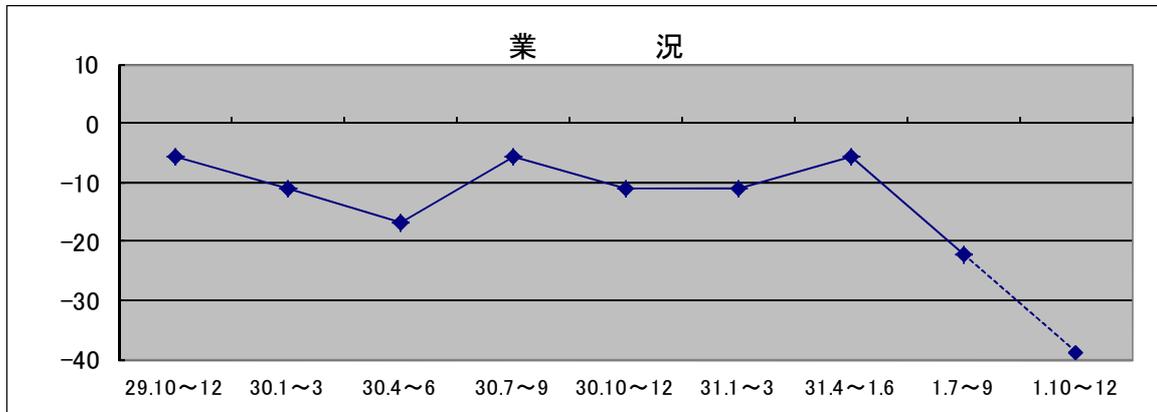
今のところ受注は確保されているが、長い目で見るとどうなるのか分からないと、先行き不透明感を強く感じる企業が多い。

《業績判断D.I.の推移》

	平成29年	平成30年				平成31年(令和1年)				見通し
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
業況	△16.7	0.0	16.7	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	△50.0	
売上	0.0	0.0	16.7	50.0	0.0	0.0	△33.3	△100.0	△50.0	
収益	0.0	△20.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	△100.0	△50.0	
資金繰り	0.0	20.0	△16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	△50.0	0.0	
人手	△16.7	20.0	△16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
設備	△16.7	△20.0	△33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
輸入製品との競争の激化	33.3 %	提携先を見つける	28.6 %
売上の停滞・減少	16.7 %	販路を広げる	14.3 %
人手不足	16.7 %	経費を節減する	14.3 %

## 能登地区の漆器業



### 【概 況】

今期（R 1.7月～9月）の業況D.I.は△22.2（前期△5.6）と大幅な悪化を示した。

業界としては、夏の観光シーズンを迎え入込客の増加に期待する声が多く、悪くても横這いを予想していた。しかしながら7月は前年並みであったものの、8月における入込客数は前年同月を9千人下回った。

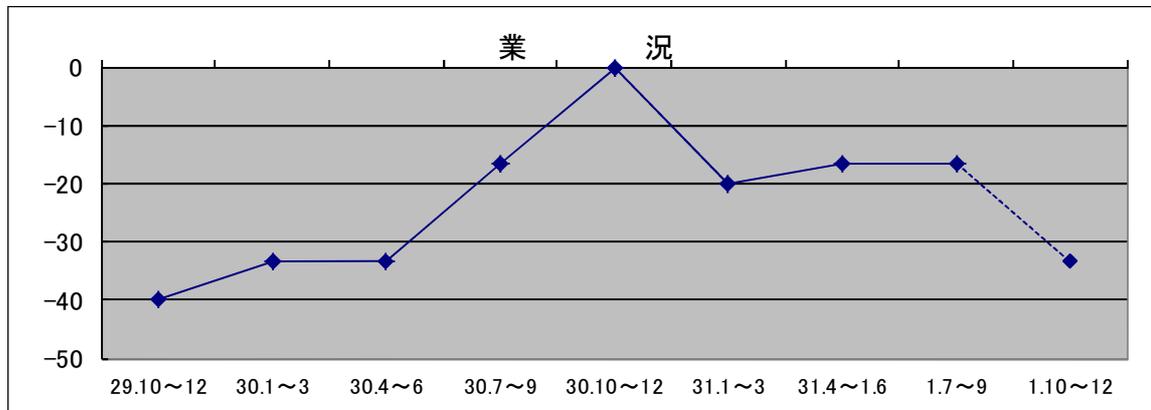
来期（R 1.10月～12月）は秋の観光シーズン期間であるが冬季に向かう時期でもあり、業況D.I.は△38.9と北陸新幹線開業後における一番の悪化を予想している。特に収益の悪化が大きい。

### 《業績判断D.I.の推移》

	平成29年	平成30年				平成31年(令和1年)				見通し
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
業 況	△5.6	△11.1	△16.7	△5.6	△11.1	△11.1	△5.6	△22.2	△38.9	
売 上	16.7	5.6	△11.1	11.1	△11.1	△5.6	△5.6	△5.6	0.0	
収 益	5.6	△5.6	△11.1	11.1	△11.1	0.0	0.0	△11.1	△33.3	
資金繰り	△5.6	0.0	△11.1	△5.6	0.0	0.0	△5.6	△38.9	△55.6	
人 手	△11.1	△11.1	0.0	△11.1	0.0	△5.6	△11.1	△11.1	△11.1	
設 備	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	16.7 %	提携先を見つける	24.0 %
輸入製品との競争の激化	16.7 %	販路を広げる	12.0 %
利幅の縮小	10.0 %	経費を節減する	12.0 %

## 能登地区の木材業



### 【概況】

消費税増税前の住宅新築やリフォームなどの資材向け駆け込み需要の増加に期待を寄せたが、前回の増税時程の顕著な動きは見られなかった。

結果、今期（R1.7月～9月）の業況D.I.は△16.7（前期△16.7）と横這いで推移した。外材の入荷が増え、単価もやや戻した。

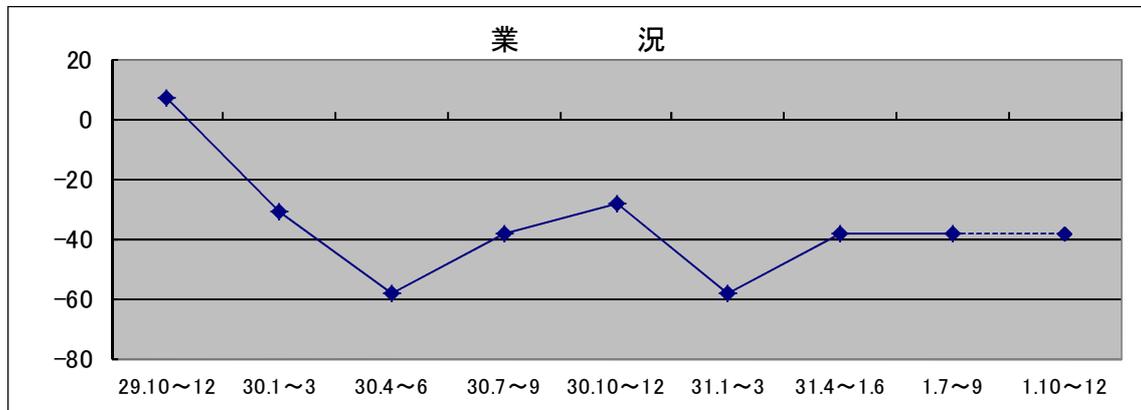
来期（R1.10月～12月）については、業況D.I.は△33.3と大きく悪化を予想する。少なからず見られた駆け込み需要の反動を懸念する事業者が多いことが窺える。

《業績判断D.I.の推移》

	平成29年	平成30年				平成31年(令和1年)				見通し
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
業況	△40.0	△33.3	△33.3	△16.7	0.0	△20.0	△16.7	△16.7	△33.3	
売上	△40.0	△16.7	△50.0	△33.3	0.0	△33.3	△16.7	0.0	△16.7	
収益	△40.0	△33.3	△50.0	△33.3	0.0	△33.3	△16.7	0.0	△16.7	
資金繰り	△40.0	△16.7	△16.7	△16.7	0.0	16.7	△16.7	△16.7	△16.7	
人手	0.0	△16.7	△16.7	△33.3	△20.0	△16.7	0.0	0.0	0.0	
設備	△20.0	△16.7	△16.7	△16.7	△20.0	△16.7	△16.7	△16.7	△16.7	

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	27.8 %	提携先を見つける	41.7 %
輸入製品との競争の激化	16.7 %	経費を節減する	25.0 %
同業者間の競争の激化	11.1 %	販路を広げる	16.7 %

## 能登地区の建具業



### 【概 況】

今期（R 1.7月～9月）業況D.I.は△38.5（前期△38.5）と、厳しいながらも消費税増税前の建築の駆け込み需要が若干影響し横這いで推移した。

来期（R 1.10月～12月）の業況D.I.は△38.5と2期連続の横ばいを予想しており、売上、収益は更に悪化すると予想する。

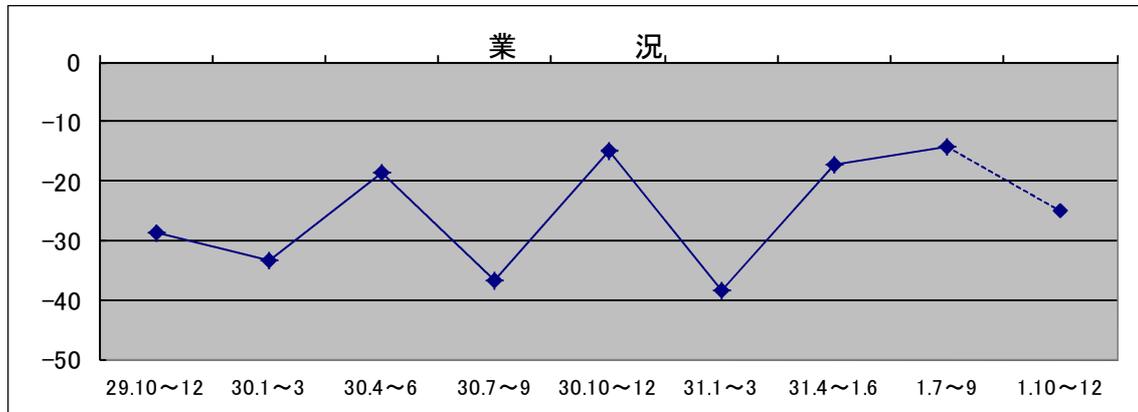
和倉温泉の旅館から、宿泊客を対象に組子細工等作業実演と作品展時の要請があり、国内はもちろんインバウンドなど顧客層も多彩であり、業界としてはこれを機に伝統と技術をアピールし販売に繋げたいと意気込む。

### 《業績判断D.I.の推移》

	平成29年	平成30年				平成31年(令和1年)			見通し
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
業 況	7.1	△30.8	△58.3	△38.5	△28.6	△58.3	△38.5	△38.5	△38.5
売 上	0.0	△38.5	△25.0	△30.8	△42.9	△66.7	△38.5	△38.5	△46.2
収 益	△21.4	△46.2	△16.7	△38.5	△42.9	△66.7	△38.5	△38.5	△46.2
資金繰り	△21.4	△15.4	△16.7	△15.4	△7.1	0.0	0.0	0.0	0.0
人 手	△14.3	△15.4	△16.7	△15.4	△7.1	0.0	0.0	0.0	0.0
設 備	△7.1	△15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	33.3 %	提携先を見つける	42.3 %
同業者間の競争の激化	25.6 %	販路を広げる	23.1 %
大手企業との競争の激化	17.9 %	経費を節減する	21.2 %

## 能登地区の織布業



### 【概況】

繊維業界全体が冷え込みを強めている中、当地区における織布業の今期（R1.7月～9月）業況D.I.については△14.3（前期△17.2）と改善を示した。衣料向けは低迷しているもカーシート用など資材向け製品に動きが見られた。

来期（R1.10月～12月）のD.I.については△25.0と悪化に転じると予想している。

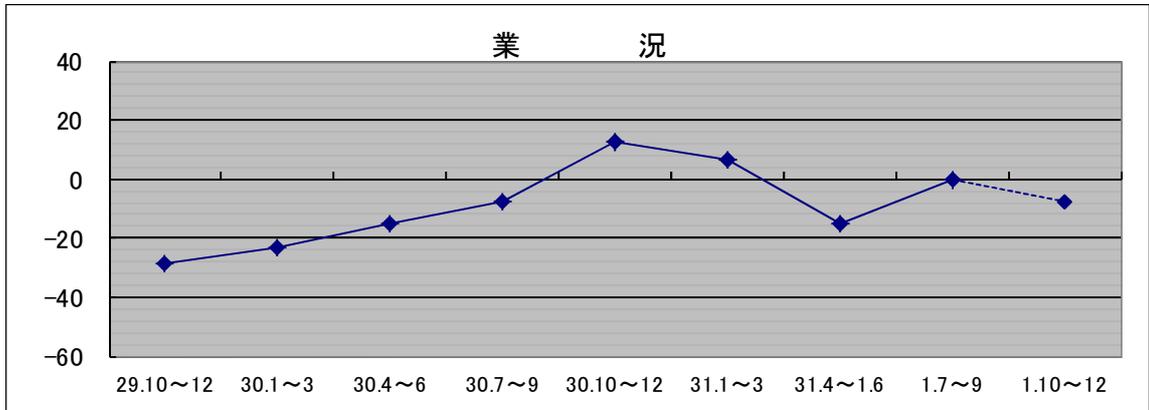
業界では、今後「織物マイスター」の育成に取り組むこととした。近年は取引先の要求の高度化により、希望に即した風合いや性能になるような新たな素材の企画提案が必要になってきているという。

### 《業績判断D.I.の推移》

	平成29年	平成30年				平成31年(令和1年)				見通し
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
業況	△28.6	△33.3	△18.5	△36.7	△14.8	△38.5	△17.2	△14.3	△25.0	
売上	△25.0	△33.3	△11.1	△30.0	0.0	△38.5	△13.8	△7.1	△17.9	
収益	△25.0	△29.2	△11.1	△30.0	△3.7	△38.5	△13.8	△7.1	△25.0	
資金繰り	△14.3	△4.2	△3.7	△13.3	△11.1	△19.2	△6.9	△10.7	△10.7	
人手	△10.7	△12.5	△3.7	△10.0	△11.1	△3.8	△17.2	△17.9	△17.9	
設備	△3.6	0.0	0.0	△3.3	△3.7	3.8	△10.3	△7.1	△3.6	

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
輸入製品との競争の激化	27.8 %	提携先を見つける	30.0 %
売上の停滞・減少	22.2 %	販路を広げる	28.6 %
利幅の縮小	7.8 %	経費を節減する	8.6 %

## 能登地区の繊維・雑品業



### 【概 況】

今期（R 1.7月～9月）業況D.I.は0.0（前期△15.4）と改善した。

来期（R 1.10月～12月）の業況D.I.は△7.7悪化を予想している。

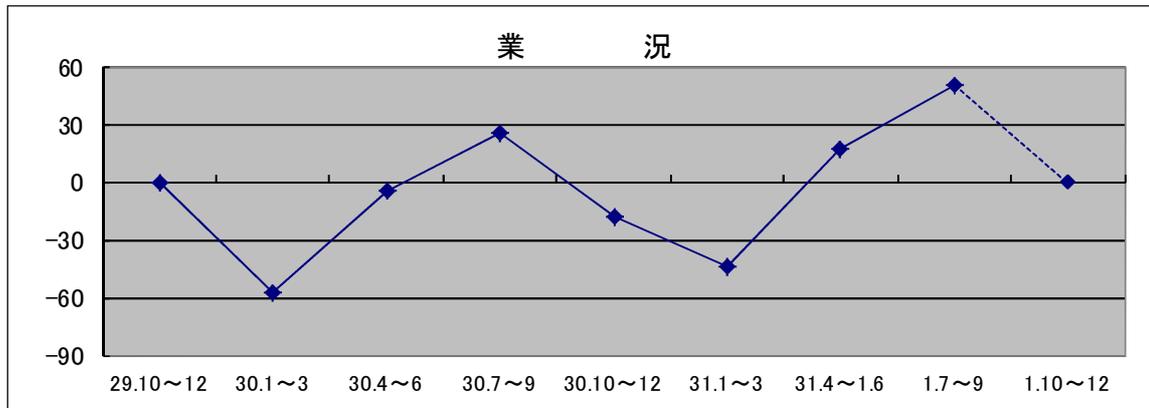
この業界では、特にレース業（エンブ等）においては流行に左右される製品製造を主力としている企業が多数を占めており、今春以降からの低迷が続く受注が大幅に減少している。一方、医療用メディカル製品向けの特殊高機能繊維に関わるゴム入り細巾織物の受注は引き続き安定しており、業界内での格差が生じている。

### 《業績判断D.I.の推移》

	平成29年	平成30年				平成31年（令和1年）				見通し
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
業況	△28.6	△23.5	△15.4	△7.7	12.5	6.7	△15.4	0.0	△7.7	
売上	△21.4	△17.6	15.4	△7.7	25.0	0.0	0.0	7.7	△7.7	
収益	△21.4	△17.6	15.4	△7.7	6.2	△6.7	△7.7	△7.7	△7.7	
資金繰り	△21.4	△29.4	△7.7	△15.4	△12.5	△6.7	0.0	△7.7	0.0	
人手	△28.6	△23.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
設備	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
輸入製品との競争の激化	14.7 %	提携先を見つける	32.4 %
売上の停滞・減少	14.7 %	経費を節減する	21.6 %
利幅の縮小	11.8 %	販路を広げる	18.9 %

## 能登地区の観光業



### 【概 況】

観光シーズンを迎え、今期（R1.7月～9月）の業況D.I.は50.0（前期16.7）と大きな改善を示した。しかしながら猛暑の影響も少なからずあったと見られ、全体的な入込客数は伸びていない。特に主要温泉地では、前年の7月、8月における宿泊者数が13千人以上減少している。

来期（R1.10月～12月）業況D.I.は0.0と大幅な悪化を予想しており、売上げ、収益の悪化はもちろん、資金繰りの厳しさに繋がる懸念を示す経営者が多いことが窺える。

### 《業績判断D.I.の推移》

	平成29年	平成30年				平成31年(令和1年)				見通し
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
業況	0.0	△57.9	△4.5	25.0	△17.6	△44.4	16.7	50.0	0.0	
売上	10.0	△47.4	36.4	45.0	△52.9	△38.9	44.4	57.1	14.3	
収益	△10.0	△47.4	31.8	40.0	△47.1	△29.4	33.3	57.1	0.0	
資金繰り	△5.0	△42.1	△4.5	△10.0	△5.9	△16.7	△22.2	△7.1	△42.9	
料金価格	5.0	△5.3	4.5	0.0	5.9	0.0	5.6	0.0	0.0	
設備	△20.0	△10.5	0.0	△5.0	△5.9	△11.1	△11.1	△21.4	△7.1	

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
同業者間の競争の激化	12.2 %	経費を節減する	27.0 %
利幅の縮小	12.2 %	提携先を見つける	27.0 %
商圈人口の減少	9.8%	宣伝・広告を強化する	16.2 %

## 主要経済指標

### ◆ 労働

(時間)

	有効求人倍率 (季節調整値)	実質労働時間	
		うち所定外	
29年 10月	1.84	152.2	11.9
29年 11月	1.85	153.6	11.9
29年 12月	1.80	153.1	12.1
30年 1月	1.97	137.1	10.0
30年 2月	2.02	143.9	10.1
30年 3月	1.97	148.1	11.0
30年 4月	1.98	153.4	11.4
30年 5月	1.96	143.5	10.0
30年 6月	1.99	154.9	10.8
30年 7月	1.98	150.8	10.1
30年 8月	1.97	144.6	9.3
30年 9月	2.00	147.7	10.3
30年 10月	2.02	149.7	10.5
30年 11月	2.06	154.6	11.3
30年 12月	2.07	147.6	10.4
31年 1月	1.99	133.4	9.5
31年 2月	1.95	142.5	10.0
31年 3月	1.91	143.5	10.3
31年 4月	1.95	148.8	10.4
1年 5月	1.88	137.1	9.7
1年 6月	1.97	148.0	9.8
1年 7月	2.00	150.3	9.8

資料: 石川県企画開発部統計課

### ◆ 消費者物価指数

※平成28年より2015年(平成27年)を100としています。

	消費者物価指数	
	総合	前年同月比
29年 10月	101.0	0.8
29年 11月	101.5	1.2
29年 12月	101.8	1.7
30年 1月	102.0	2.1
30年 2月	102.0	2.0
30年 3月	101.9	1.9
30年 4月	101.8	1.2
30年 5月	102.1	1.1
30年 6月	101.9	1.1
30年 7月	102.0	1.5
30年 8月	102.7	1.9
30年 9月	102.5	1.6
30年 10月	102.9	1.9
30年 11月	102.5	1.0
30年 12月	102.2	0.4
31年 1月	102.0	0.0
31年 2月	101.9	-0.1
31年 3月	102.5	0.6
31年 4月	102.9	1.1
1年 5月	102.9	0.8
1年 6月	102.4	0.5
1年 7月	102.3	0.3
1年 8月	102.8	0.1

資料: 石川県企画開発部統計課

### ◆ 信用保証

(百万円)

	保証承諾		保証債務	
	件数	金額	件数	金額
29年 10月	181	1,502	19,727	138,194
29年 11月	176	1,630	19,353	135,146
29年 12月	200	1,577	18,969	132,033
30年 1月	126	1,521	18,706	129,159
30年 2月	162	1,288	18,345	126,816
30年 3月	214	2,081	17,811	124,582
30年 4月	199	1,734	17,497	122,421
30年 5月	264	2,021	17,252	120,483
30年 6月	328	2,606	16,975	118,645
30年 7月	276	2,550	16,687	117,047
30年 8月	269	2,279	16,469	115,686
30年 9月	254	1,806	16,183	114,207
30年 10月	281	2,691	15,972	112,457
30年 11月	235	2,204	15,818	111,698
30年 12月	282	2,345	15,640	110,858
31年 1月	184	2,429	15,480	109,852
31年 2月	254	2,061	15,311	109,014
31年 3月	303	2,902	15,003	107,844
31年 4月	266	2,305	14,870	107,380
1年 5月	265	2,147	14,723	106,560
1年 6月	318	2,501	14,563	105,931
1年 7月	315	3,079	14,403	105,560
1年 8月	291	2,371	14,280	105,204

資料: 石川県信用保証協会「保証月報」

### ◆ 企業倒産件数

(百万円)

	企業倒産件数	
	件数	金額
29年 9月	8	1,296
29年 10月	7	363
29年 11月	4	287
29年 12月	3	64
30年 1月	5	137
30年 2月	8	1,724
30年 3月	8	851
30年 4月	2	20
30年 5月	5	497
30年 6月	10	419
30年 7月	9	964
30年 8月	6	534
30年 9月	4	296
30年 10月	7	281
30年 11月	6	2,561
30年 12月	2	36
31年 1月	9	571
31年 2月	5	1,931
31年 3月	5	364
31年 4月	6	109
1年 5月	7	415
1年 6月	7	107
1年 7月	9	281
1年 8月	6	591

資料: (株)東京商工リサーチ

# 主要経済指標

## ◆ 建築着工

(千㎡、百万円)

	建築着工総数		うち住宅着工	
	床面積	工事予定額	戸数(戸)	床面積
29年 9月	117	22,877	776	68
29年 10月	115	22,358	787	71
29年 11月	97	19,637	765	70
29年 12月	82	14,987	538	51
30年 1月	77	15,477	480	44
30年 2月	117	33,595	520	52
30年 3月	86	16,297	578	59
30年 4月	131	24,775	665	66
30年 5月	130	27,119	623	61
30年 6月	119	24,423	742	70
30年 7月	84	15,406	642	62
30年 8月	93	18,067	645	59
30年 9月	103	19,681	725	66
30年 10月	143	25,960	723	66
30年 11月	128	22,801	660	69
30年 12月	89	15,101	606	54
31年 1月	78	16,724	490	47
31年 2月	91	17,691	727	74
31年 3月	116	24,600	732	76
31年 4月	162	30,811	782	75
1年 5月	103	17,880	569	59
1年 6月	120	21,572	1,001	86
1年 7月	97	19,022	689	62

資料:国土交通省(石川県内)

## ◆ 公共工事請負金額

(件、百万円)

	件数	請負金額
29年 9月	791	28,897
29年 10月	563	12,909
29年 11月	484	9,990
29年 12月	377	6,783
30年 1月	242	4,295
30年 2月	222	7,073
30年 3月	195	8,793
30年 4月	477	60,033
30年 5月	310	17,948
30年 6月	506	14,439
30年 7月	565	12,481
30年 8月	513	10,562
30年 9月	536	14,840
30年 10月	545	13,762
30年 11月	466	7,732
30年 12月	370	6,427
31年 1月	113	10,977
31年 2月	513	7,774
31年 3月	229	8,061
31年 4月	447	51,963
1年 5月	437	28,033
1年 6月	545	14,207
1年 7月	628	19,993
1年 8月	426	10,617

資料:東日本建設業保証(株)(石川県内)

## ◆ 新車登録台数

(台)

	普通自動車	軽自動車
29年 9月	3,264	1,764
29年 10月	2,444	1,361
29年 11月	2,423	1,512
29年 12月	2,582	1,384
30年 1月	2,395	1,524
30年 2月	3,223	1,759
30年 3月	6,047	3,069
30年 4月	2,545	1,539
30年 5月	2,702	1,464
30年 6月	3,225	1,791
30年 7月	3,442	1,765
30年 8月	2,522	1,324
30年 9月	3,401	1,914
30年 10月	3,182	1,598
30年 11月	3,285	1,884
30年 12月	2,573	1,361
31年 1月	2,400	1,506
31年 2月	3,547	1,905
31年 3月	5,850	2,901
31年 4月	2,511	1,570
1年 5月	2,731	1,608
1年 6月	3,271	1,780
1年 7月	3,505	1,701
1年 8月	2,563	1,601

資料:石川県自動車販売店協会

## ◆ 温泉地宿泊数

(人)

	和倉温泉	輪島温泉
29年 10月	78,696	16,700
29年 11月	84,816	16,300
29年 12月	69,313	6,900
30年 1月	58,721	7,000
30年 2月	56,352	7,600
30年 3月	77,271	8,700
30年 4月	60,206	11,800
30年 5月	67,787	16,300
30年 6月	63,858	12,900
30年 7月	63,816	15,500
30年 8月	98,503	23,300
30年 9月	69,984	14,300
30年 10月	79,254	17,800
30年 11月	84,619	17,300
30年 12月	74,360	10,800
31年 1月	54,447	9,200
31年 2月	60,461	9,700
31年 3月	74,459	12,100
31年 4月	58,625	13,200
1年 5月	63,596	16,700
1年 6月	60,805	13,300
1年 7月	58,182	14,100
1年 8月	92,608	20,700

資料:北陸観光協会、和倉温泉観光協会  
輪島市観光協会

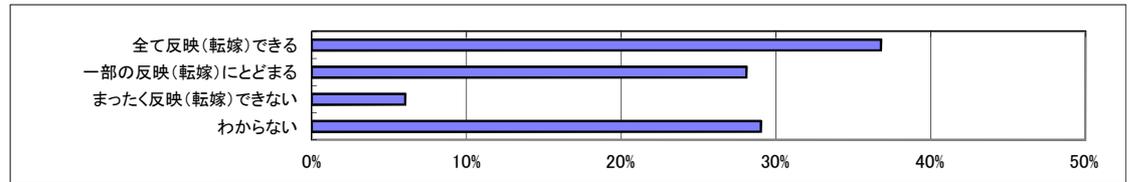
## ◆ 織物生産高

(千㎡)

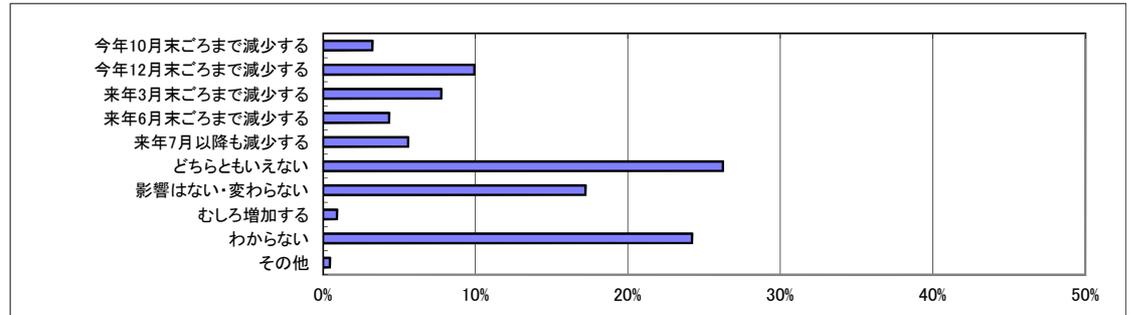
	合計
29年 10月	23,154
29年 11月	23,598
29年 12月	21,884
30年 1月	20,715
30年 2月	20,716
30年 3月	23,332
30年 4月	21,367
30年 5月	21,041
30年 6月	22,518
30年 7月	22,899
30年 8月	20,669
30年 9月	21,934
30年 10月	23,621
30年 11月	22,945
30年 12月	21,010
31年 1月	21,040
31年 2月	21,580
31年 3月	23,248
31年 4月	22,002
1年 5月	22,017
1年 6月	22,592
1年 7月	23,924

資料:石川県企画開発

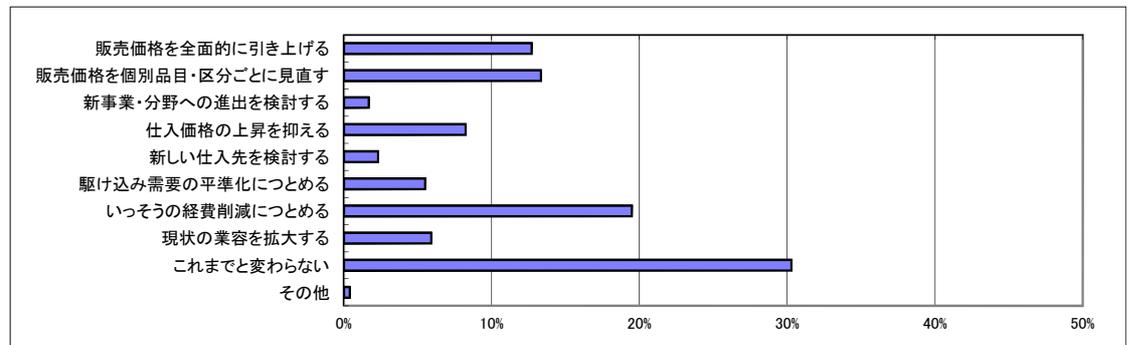
問1. 今年(2019年)10月からの消費税率上げ(8%→10%)について、貴社では、販売価格にどの程度反映(転嫁)できると考えていますか。



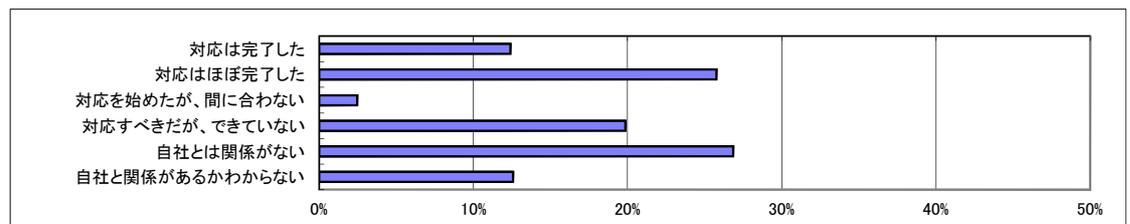
問2. 消費税率上げは、当面の貴社の売上げに対し、どのような影響を与えると見込まれますか。



問3. 消費税率上げ後の収益を確保するために、貴社ではどのような対策を考えていますか。

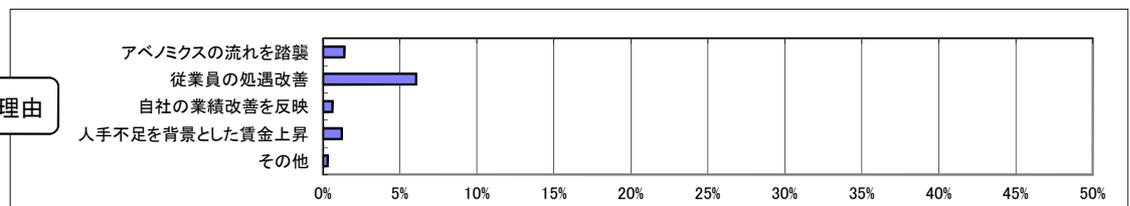


問4. 貴社は、今回導入される予定の軽減税率制度について、レジの改修や帳簿、請求書、価格表示変更などの何らかの対応をとっていますか。



問5. 消費増税など経済環境が大きく変化しているなかで、貴社では、今春、賃金を引き上げましたか。

賃金を引き上げた理由



賃金を引き上げていない理由

